



新屋幼稚園の取り組み

# ウィズコロナ 新屋幼稚園

新屋幼稚園  
園長 高橋美枝子  
園児 55人

給食おいしいね！  
年少・ひよこ組

例年より二カ月遅れで、初めての幼稚園生活がスタートしたひよこ組。同時に初めての給食もスタートです。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防をしながらの給食ということ、手洗い、うがい、消毒に加え、お友だちと対面にならないよう、パーテーションで仕切った給食です。最初のうちはパー



ソーシャルディスタンス！



モリモリ食べるよ！

テーションを前に少し緊張した様子の子どもたち……。でも、何日かすると「先生、今日の給食はなあに？」「今日はデザート出るの？」など、給食の時間がだんだんと楽しみになりました。  
今では、たくさんおかわりもでき、給食の後の片付けも自分たちでできるようになっています。「先生給食おいしいね！」「今日もニコニコ笑顔で給食を頼張る子どもたち。「明日の給食は何かな？」毎日、給食の時間が楽しみだね！

おじいちゃん、おばあちゃん  
大好き♡年中・かなりお組

九月二十一日は敬老の日でした。いつもならば「祖父母と触れ合う会」で楽しい時間を過ごしている時期ですが、今年はコロナ禍のため叶いませんでした。

そこで、おじいちゃんやおばあちゃんに手紙を出すことにしました。おじいちゃんやおばあちゃんの話をする、「はたけしごととしてくれる〜」いっぱいあそんでくれ



喜んでくれるかな？

「教育のひろば」とは  
各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。



届け！みんなの思い！！

るよ」等々、溢れんばかりの笑顔で話してくれました。  
子どもたちは、優しいおじいちゃんとおばあちゃんが大好き♡「どんな手紙にしようかな？」「きつとびっくりするよね？」「口々に言いながら、うれしそうに作っていました。手紙が届いた時のおじいちゃん、おばあちゃんの顔を想像しながらの時間は、とても楽しいひとときでした。  
みんなの気持ちがしっかりと届いたでしょうか？

## 特別な夏休みを過ごして

例年より短い夏休みが終わわり、二学期が始まりました。  
一学期は新型コロナウイルス感染症の流行による休校のあと、子供たちは不便でストレスがたまる新しい生活様式による生活を送りました。楽しみにしていた夏休みも「特別の夏」と言われ我慢の毎日でした。

子供たちは新学期をどんな気持ちで迎えるのだろうか？始業日が心配でしたが、元気な様子を見て安心しました。

- ・ゲームや本を買ってもらい、家族や友達と遊んだこと。
- ・野球やサッカー、ハンドボール

## 教育相談室

◆問合せ・相談申込  
学校教育係 ☎(74)3131  
福島小言語指導教室  
☎090(2238)8704

感染症を予防するために、調和のとれた生活を続けるとともに、コロナ禍の社会を生き抜く強い心身を育んでいくことが大切です。

学校や家庭では、子供たちの心や体、行動の変化を敏感に察知し、早期に適切な心のケアができるように心がけたいと思います。

## ハロー！マット先生！ 年長・つばめ組

幼稚園では、月に一〜二回ほどALTのマシュー・ウェン先生（愛称・マット先生）が来園し、日常生活で役に立つ英語を教えてくださいます。

今回は、主に「天気」についてです。まずは「晴れ」「雨」「曇り」「雪」の単語の発音練習で、絵を見ながらやってみました。

子どもたちが大きな声で発音できるようにになると、マット先生は絵を壁に貼り、先生の発音する天



マット先生のまねをして「sunny！」



マット先生が言ったのはこれだ！

気の絵を探してタッチするゲームを行いました。繰り返し絵を見ながら発音してきたので、すぐに言われた英単語の天気の絵を見つけ、タッチできました。

このように子どもたちは英単語や発音を遊びながら身につけていきます。また、マット先生は子どもたちと触れ合ってたくさん遊んでくれるので、みんな「英語の日」をととても楽しみにしています。

